

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年9月29日（月）

2 確認箇所

建屋内RO循環設備（4号機タービン建屋2階）（図1）

3 確認項目

建屋内RO循環設備の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染（令和5年10月）」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい（令和6年2月）」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、本県では汚染水処理設備の運転状況や設備機器の保守・点検状況を適宜、継続して確認している。

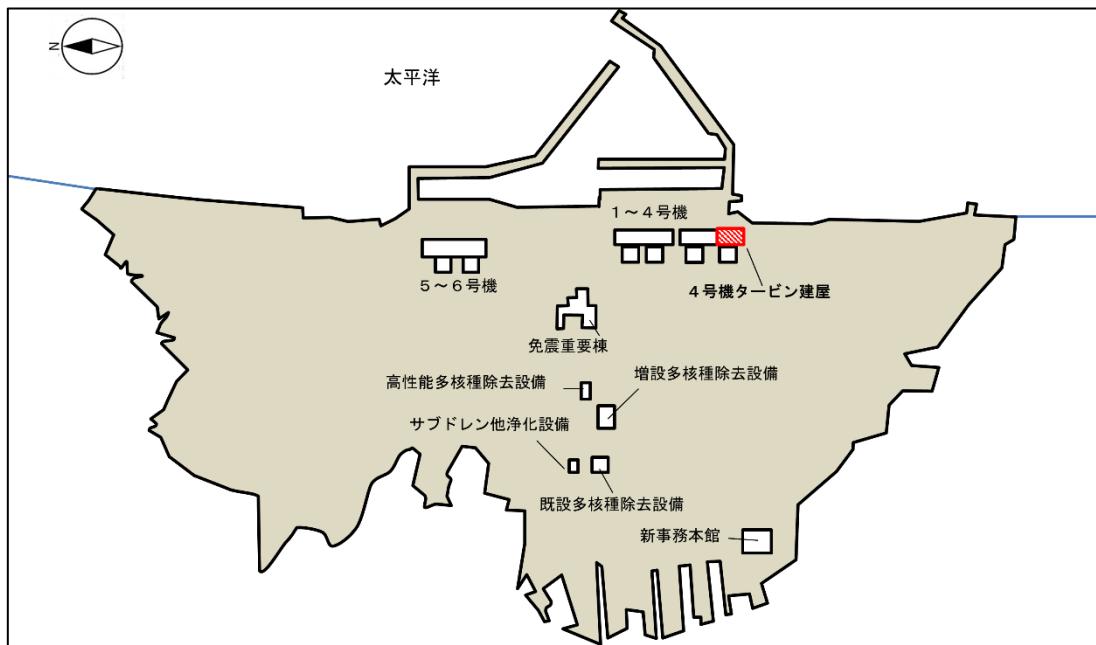
本日は、建屋内RO循環設備^{※1}において実施されているろ過器^{※2}のフィルタ交換作業等の状況を確認した。（前回確認：令和7年5月30日）

当該設備の配置の概略図を図2に示す。なお、確認当日は、建屋内RO循環設備の2系統（A系及びB系）のうち、A系は停止中、B系は運転中であった。

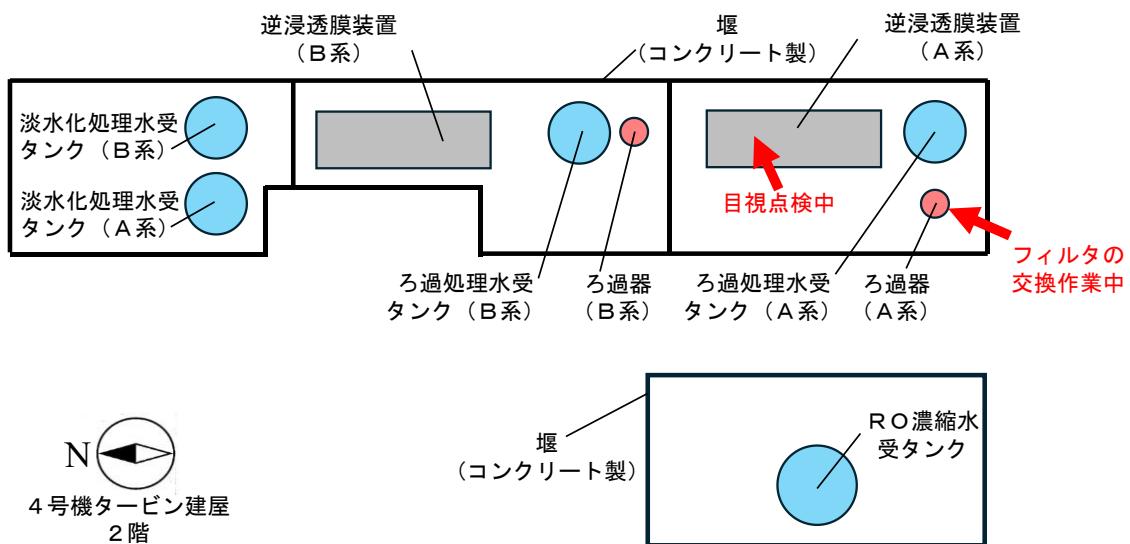
- ・現場確認時、A系のろ過器上部の蓋が取り外され、フィルタ交換作業が実施されていた。（写真1）
- ・作業員は、Y装備を着用していた。熱中症対策として、定期的に声かけによる体調確認が行われていた。
- ・ろ過器の蓋の吊り上げ作業など天井クレーンを用いた玉掛け作業においては、玉掛け者と合図者が連携するとともに、監視人を配置し、安全に作業が進められていた。（写真2）
- ・上記作業とは別に、逆浸透（RO）膜装置では、ホース及びフランジ部の更新に伴い、通水前の目視点検が行われていた。（写真3）
- ・運転中のB系については、目視で確認した範囲において、設備や配管からの漏えい等の異常は認められなかった。

※ 建屋内RO循環設備：逆浸透（RO）膜装置及びこれに付帯する設備のこと。建屋滞留水等の屋外移送距離を短縮させ放射性物質漏えいのリスクを低減させることや処理済水の原子炉への供給・注水の信頼性を向上させることを目的に、平成28年に4号機タービン建屋2階に設置された。

※ ろ過器：逆浸透（RO）膜装置の前段に設置され、粒子状物質を除去するために設けられている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 建屋内RO循環設備の配置の概略図



(写真1-1)
フィルタの交換作業の状況



(写真1-2)
使用済フィルタの仮置き状況



(写真2)
玉掛け作業の状況



(写真3)
ホース及びフランジ部の点検作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。